

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉区民センター
施設所管課・担当	住吉区役所総務課（担当：堂前・中塚）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	1. 貸館運営業務 2. 徴収事務委託契約に基づく収納事務 3. 施設総合管理業務
成果指標	施設利用率、利用者満足度
数値目標	73.19%以上、87%以上
指定管理者名	大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	施設利用率	利用者満足度
数値目標	73.19%	87.00%
年度実績	54.40%	96.60%
達成率	74.30%	111.00%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	173,540	168,137	5,403
稼働率	54.4%	61.1%	-6.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	34,577,215	36,938,562	2,996,215	光熱費の高騰に対し、協定書に基づき費用補填を行ったため。
	計画	31,581,000	31,581,000		
利用料金（使用料）収入	実績	23,057,900	21,324,470	3,260,900	室料金の直前割引やSNS等での営業活動を行ったことにより、利用者が増加したため。
	計画	19,797,000	19,669,000		
自主事業収入	実績	9,642,548	9,445,610	2,945,048	自主事業のコマ数増加等により自主事業収入が増加したため。
	計画	6,697,500	8,545,000		
その他収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	67,277,663	67,708,642	9,202,163	
	計画	58,075,500	59,795,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	27,334,955	26,943,316	1,634,400	最低賃金の増加等
	計画	25,700,555	25,322,166		
物件費	実績	22,447,624	21,875,494	6,442,127	エネルギーコスト高騰に伴う光熱費の増加
	計画	16,005,497	15,958,654		
修繕費	実績	10,683,508	10,228,757	917,108	経年劣化により、想定以上の修繕費を要したため。
	計画	9,766,400	9,848,900		
自主事業支出	実績	5,076,206	4,340,671	-878,794	
	計画	5,955,000	3,913,300		
その他支出	実績	3,509,748	3,479,980	-800,000	
	計画	4,309,748	3,479,980		
合計	実績	69,052,041	66,868,218	7,314,841	
	計画	61,737,200	58,523,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
施設利用率	74.3%	C	数値目標を達成することはできなかったが、SNS等を通じて新規顧客獲得に向けた施策を適切に実施したことは評価できる。 また、利用率が低い小ホールやスタジオ等の部屋限定で料金の直前割を実施する等、施設の利用率向上を図ろうとしている。
利用者満足度	111.0%	A	スタッフの新規採用時や決まった時期での接遇研修等により、職員の資質向上に努めており、高い利用者満足度を得たことは評価できる。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費削減にかかる取り組みを実施していた。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	法令・規則にのっとり適切に管理運営が行われた。
事業計画の実施状況	B	事業計画等に基づき適切に実施されていた。その他寄せられる要望等についても、迅速に対応しており、細やかな配慮が見られる。
施設の有効利用	B	ボランティアセンターと共同で交流スペースを運営し、区内の市民活動、ボランティア活動のハブとして機能した。また、区内の中学生を職場体験として受け入れる等、施設の設置目的達成に向けて努めていた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	法令に基づき、標準通り事務が進められていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者に対して年2回のアンケート調査を実施。（総回答者数 192名） 「施設設備」「スタッフの対応」「清掃状況」「総合満足度」等の項目で調査を行い、総合的な満足度では96.6%の利用者から満足との回答が得られた。 また、「ホールの客席が暗い」「施設利用時の廊下の話し声がうるさい」といった利用者からの意見・要望等に対し、照明器具の交換や巡回回数を増やす等により適切に対応していた。
--

6 外部専門家意見

利用率は大きく低下したが利用者は増加している、満足度・利用者対応、地域支援については高い水準にある。 専門室の低稼働と資料館の整合性を切り分けて評価する必要がある。 （収支と補填の内容、赤字の要因がわかりにくい） 実際の利用度をあげる情報発信、収集方法を具体化してください。 特別室の利用促進策について、部屋ごとの特徴を踏まえ、具体的な施策を検討願いたい。 収支について、赤字原因を把握いただきたい。 SNSの活用などは評価できるが、より効果的な方法をご検討ください。 満足度が高くホスピタリティに注力されている点は評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B+	施設利用率については、成果指標を達成することは出来なかったが、委員意見にもあるように利用者が増加していること、また満足度・利用者対応、地域支援が高い水準にあることは評価できる。
市費の縮減	B	昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費削減にかかる取り組みを実施していた。
管理運営の履行状況	B	法令・規則にのっとり適切に運営が行われていた。 また、各評価項目において適正な管理運営がなされており、施設の有効利用等についても適宜改善を講じていた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	上記により、令和7年度については、おおむね本市の定める水準どおり効果が得られたと考える。